

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010250

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	16	交通体系の整備	事業優先度	B		
単位施策	1	道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	錦町海岸線道路整備事業		見直し年度			
事業期間	平成26年度～平成29年度		担当課	10 建設水道課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	整備延長			#N/A		
事業目標	140m		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	○道路整備L=140m,W=5.0m,歩道W=1.5m		実測調査設計L=140m			道路整備 全体延長L=140m
	○実測調査設計L=140m		用地確定調査L=140m			・前浜線～ボンオコツナイ川 L=60m,W=5.0m
	○用地確定調査L=140m					・オコツナイ川～ボンオコツナイ川 L=80m,W=5.0m,歩道W=1.5m
計 画 事 業 費	事業費(千円)	37,000	0	4,000	0	33,000
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	33,000				33,000
その他	0					
一般財源	4,000		4,000			
実 績 事 業 費	事業費(千円)	35,197	0	3,877	0	31,320
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	30,700				30,700
その他	0					
一般財源	4,497		3,877			
関 連 事 項	特定財源の名称 過疎債(ハード)100%		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】					
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値				136.52m
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	97%	#DIV/0!	95%
	全体達成率	0%	10%	10%	10%	
	事業進捗状況					

事業名	錦町海岸線道路整備事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	土木管理係	大庭 悟

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	道路整備延長	
【抱える課題やニーズは】	降雨時の水処理、既設舗装の凸凹の解消。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	快適な通行と道路環境の向上。	① 道路整備延長/道路整備延長	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	道路利用者の快適な道路環境の確保。		目標値	136.52 m
			実績値	136.52 m
			達成度	100.0 %
		②	目標年度	平成29年度
			目標値	〇〇
			実績値	〇〇
			達成度	#DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による設計及び工事の実施	入札により民間業者に設計及び工事を発注し、道路整備を実施した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	道路利用者が通行する道路環境を良好にすることは、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		当該事業を実施したことにより、快適な道路環境が確保された。
	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		当該事業を実施することで、快適な道路環境が確保されたことは、効率的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		道路環境の向上が図られたことは、不特定多数の道路利用者に対して、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
事業が目標どおり達成された。		
今後の展開方向 (Action)	↓	↓
終了		
平成29年度事業終了。		

※展開方向の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止